

別添1-1

フロンティア育成事業公募課題における実施期間・事業規模等一覧

課題番号	研究開発課題	実施体制	実施期間	事業規模	中間評価で求める通過条件（例） ※実際の通過条件は事業期間中にNEDOより提示。	特別約款適用 有無	【別添1-2】GXリーグへの加入 状況または温室効果ガス排出削減のための取組状況について 提出要否
課題1	地下未利用資源の活用／天然水素の生成増進・回収実現に向けた研究開発	①企業のみで実施する体制 ②企業と大学・公的研究機関等が「連名提案」で実施する産学連携体制(代表機関が大学・公的機関等となる場合は、事業化に向けて取り組むことが条件) ③企業から大学・公的研究機関等へ「再委託」若しくは「共同実施」で実施する産学連携体制 ④大学・公的研究機関等のみで実施する体制（事業化に向けて取り組むことが条件） ⑤大学・公的研究機関等からの「再委託」若しくは「共同実施」で実施する体制（事業化に向けた体制構築に取り組むことが条件） ※なお、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりません	最大3年	・有望地選定： 1年目：1.5億円以内 2年目：1.5億円以内 ・基盤技術： 1年目：1研究開発項目あたり0.5億円以内 2年目：1研究開発項目あたり0.5億円以内 ※複数の研究開発項目を含む申請の場合には、それぞれの研究開発項目ごとに0.5億円以内 ※3年目は中間評価結果に基づき決定	有望地選定： ・調査井試掘に向けた候補地の第一次選定結果の提示 ・商用化に向けた連携を含めたビジネスモデル案の提案 基盤技術： ・増進水素実用化に向けた各基盤技術の高度化 ・テストサイトでの増進試験に向けた連携案の提示	無	有
課題2	ネガティブエミッション技術の導入／海洋CDRの工業的技術開発（低コストCO2回収技術）		最大3年	1年目：1億円以内 2年目：0.5億円以内 3年目：0.5億円以内（2年目に実施する中間評価結果に基づき決定） ※複数の研究開発項目（素材等）を含む申請の場合には1年目0.5億円以内／研究開発項目、2年目、3年目0.3億円以内／研究開発項目を追加した予算	基礎データを取得し、スケールアップ時のCO2回収エネルギー、経済性を推算。推算値から考える将来性が、本課題内での結果や対外技術と比較して見込みがあること。	無	無
課題3	自動化・省人化・デジタル化／海洋ロボティクスの省人化技術		最大3年	1年目：1.5億円以内/件 2年目：1億円以内/件 ※3年目は中間評価結果に基づき決定	実海域で技術の有効性を示すこと。その際にかかる諸費用は、研究開発予算に積算すること。	無	無
課題4	脳・神経機能の回復・拡張や人機協働を実現するブレインテック/ニューロテック／脳・神経活動の非侵襲的な計測の高度化とその応用		最大4年	1年目：1億円以内／件 2年目：1億円以内／件 ※3年目以降は中間評価結果に基づき決定	計測機器や脳基盤モデルのPoCの目途が立っていること。	有	無
課題5	量子センシング／光格子時計・ダイヤモンド等NVCの産業化に資する基盤技術開発		最大3年	1年目：1億円以内／件 2年目以降：0.7億円以内／件 ※3年目は中間評価結果に基づき決定	・ユーザー企業によるモックアップ評価体制の構築 ・サプライヤー企業との研究開発体制の構築	無	無

原則、契約期間 1年目は2026年5月頃～2027年3月までとなります。